

魅力引き出しインタビュアー養成講座

3期 講義内容

【6回】簡易版

第1回：インタビューとは何か（基本概論）

講座の目的とマインドセット

- ・ インタビューの本質的な定義
- ・ 「聞く」の多様な意味
- ・ なぜあなたのインタビューは面白くないのか
- ・ 面白いインタビューの効果

魅力とは何か

- ・ 魅力の4つの要素
- ・ 魅力の本質的特徴（複合性・相対性・創造性）
- ・ なぜ自分の魅力に気づけないのか

ライターの役割

- ・ 他の文筆業との違い
- ・ ライターの特徴

プロとアマの違い

- ・ 結果だけではプロにならない
- ・ インタビュアーの使命

AI時代におけるインタビューの価値

- AI との差別化
- インタビュースキルの重要性

結論:つまらない人間は存在しない

第 2 回: インタビューの基本技術

準備の重要性(4 つの柱)

1. リサーチ

- なぜリサーチが必要か
- 事前アンケートの活用
- リサーチ情報の扱い方
- 「知ってるけどあえて聞く」テクニック
- 調べたことをアピールする重要性

2. 質問設計(6 つの記事要素フレームワーク)

- インタビュー記事を構成する 6 つの要素
(WHO/WHAT/WHEN/WHERE/WHY/HOW)
- 質問設計の実践

3. 見た目(身だしなみ)

- メラビアンの法則
- 第一印象の重要性
- 基本原則
- 相手に合わせた服装戦略
- 最重要要素

4. 空気作り

- 目的
- ルーティンによる自分の心の整理
- 事前打ち合わせ

- 心をつかむ自己紹介
- 必需品

基本姿勢の重要性

- 笑顔・うなずき・相槌の効果
- 実践ワーク: 自己紹介の3パターン

インタビューは登山と同じ

第3回: 傾聴スキルと質問技法

深掘り力とは

- 深掘りの定義
- 深掘りの特徴
- 深層心理へのアプローチ

5W2Hを活用した質問技法

- 基本フレームワーク
- 重要な原則

深掘りの効果

- 抽象論から脱却できる
- イメージを再現してもらう
- 具体例の重要性

「なぜ」の使い方

- 「なぜ」の多用は危険
- 代替表現

「聞く」ことの本質

- 日本語の「きく」
- 英語の表現

実践的な傾聴テクニック

- 相手の話を引き出す姿勢
 - 宿題の実践
-

第 4 回：相手の本音を引き出すコミュニケーション

心を動かすテクニックの全体像

返報性の原理

- 返報性とは
- 実践方法
- 効果

共感力

- インタビューは心理戦である
- 共犯関係の構築
- ペーシング(相手の話し方に合わせる技術)
- バックトラッキング(オウム返し)
- 観察力

深層心理の 4 階層モデル

- 地上 1 階：経験・知識・スキル
- 地下 1 階：コンピテンシー(行動特性)
- 地下 2 階：ポテンシャル(伸びしろ)
- 地下 3 階：エネルギーの源泉
- 質問アプローチ

バックキャスト型フレームワーク

- バックキャストイングとは
 - なぜインタビューに有効か
 - 実践方法
 - バックキャストイングの効果
 - わくわく感の正体と心理的変化
-

第 5 回：インタビュー記事の執筆方法

聞いて楽しい話を読んで面白い記事にする 3 つのポイント

1. 情報の選別と並べ替え(構成)
2. 具体的な事例・エピソードの描写
3. 読者の興味関心に寄り添った再構成

記事の基本構成

- タイトル
- リード文
- 本文
- まとめ

インタビュー記事の 3 つの書き方

1. Q&A 形式
2. 一人語り形式
3. 第三者視点形式

英雄の旅(ヒーローズジャーニー)の活用

- 物語の 4 構成に当てはめる
- インタビューの 6 要素を物語に変換

文章作成のコツ

- 話し言葉を文章用に調整
- ボキャブラリーの使い分け
- 慣用句の効果的な活用
- 接続詞による文章の流れ作り

AI 時代の執筆戦略

AI 時代の現状

AI と人間の役割分担

- AI に任せる作業
- 人間が注力すべき領域

具体的な AI 活用方法

1. リサーチと質問案作成
2. 文字起こしと要約
3. 下書き作成
4. 微調整のコツ
5. ファクトチェック

AI 文章を「面白く」するコツ

- 文章リズムに変化をつける
- ユーモアや意外性のある言い回し
- 感情や具体的体験を織り込む
- 目的や読者像を AI に明確に伝える
- 最終的に人間の手で独自性・温度感をプラス

重要な注意点

- 自分が取材したものに限る

- AI は「補助ツール」
 - むしろ推敲に時間をかけられる
-

第 6 回：実践的なケーススタディ(実際の経営者にインタビュー)

実践の目的

- これまで学んだ全技術の統合
- アウトプットまで含めた実践

実践インタビュー：山崎さんのケース(2期の実例)

- ゲストプロフィール
- インタビューの流れ(30 分)
 - 幼少期～学生時代
 - 会社員時代
 - 第 1 の転機：整体師への転身(40 歳)
 - 整体院経営の成功
 - 第 2 の挫折：天狗になった結果
 - 第 3 の転機：アトピー整体への転換
 - アトピー整体の確立
 - コロナ禍での転換
 - 未来のビジョン

インタビュー後の講評(講師より)

- 良かった点
- 改善点
 1. タイムマネジメントの課題
 2. 質問が端的でない
 3. 深掘りが足りない部分

記事化の実践

- このインタビューをどう記事にするか
- タイトル案
- 構成案(一人語り形式)
- 記事化のポイント

継続的に仕事を得るために

クライアント関係の構築

- 一次顧客はクライアント
- 信頼関係の構築方法
- リピートに繋がるポイント

自己研鑽の継続

- 常に学び続ける姿勢
- 実践を重ねる
- ネットワークの構築

講座全体の総括

- インタビューの本質
- 技術の統合
- プロフェッショナルとして
- AI 時代を生き抜く

以上